

「長門市観光基本計画骨子案」に対する意見 及びこれに対する市の考え方

■意見募集期間 平成22年11月1日（月）～11月30日（火）

■意見の件数 7名 14件

■意見の概要と市の考え方

【進行管理に関するもの】 1件

No.	意見の概要	市の考え方
1	計画書に沿った結果を導くために、今現在実行可能な行動計画を立て、即行動に移すことができなければ、「PDCA」は回らないと思う。	行政においては、行動計画に基づく予算編成を行うとともに、観光基本計画の普及啓発に努め、団体や事業者、市民の皆さんの行動計画に沿った取組や行動を促進していきます。 また、観光戦略推進会議において、毎年度、進捗状況の把握や成果及び課題の検証などの進行管理を行い、戦略及び行動計画の着実な推進を図ることとしています。

【現状と課題の分析に関するもの】 2件

No.	意見の概要	市の考え方
1	観光資源の表に「長門大津和牛」の表記があるが、平成22年10月24日の「長門ふるさとまつり」でブランド名が発表されているので、「長州ながと和牛」に変えられたい。	御意見のとおり「長州ながと和牛」に修正しました。
2	幅広い項目についてのアンケート調査には感心するが、調査結果に回答者数の記載がなく、データとしての精度に若干の疑問がある。	利用や分析の際に参考にしてもらうため、回答者数についても表記しました。

【基本的な考え方に関するもの】 2件

No.	意見の概要	市の考え方
1	「日本の心『やさしさ』を奏でるまち長門」の理念に賛成。押し進めていただきたい。	骨子案に賛同いただいたものと理解させていただきます。
2	数値目標の「ながと“やさしさ”指数」について、「満足度アップ」、「満足度さらにアップ」と記載されているが、数値目標ならば、具体的な数値が示されるべきだと思う。	御意見のとおり、具体的な数値を示しました。

【戦略、行動計画に関するもの】 9件

No.	意見の概要	市の考え方
1	<p>「やさしさ」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者や子供が怪我をしないよう、分かりやすいように配慮が必要。 ・海を見にくるリピーターに、「どうぞここでのんびり海を見てください」と思えるような場所の提供が必要。 ・県外ナンバーの車を煽ったり、散策する観光客にクラクションを鳴らして道を開けさせようとするなどもつてのほか。 	<p>「やさしさ」を観光によるまちづくりの理念としているところであり、いただいた御意見は、行動計画「おもてなしまちづくり」や戦略「癒しとアメニティ空間の提供」の実施段階において、おおいに参考にさせていただきます。</p>
2	<p>観光資源が多いので、県内外にアピールできるものを精選し、先を見越した戦略を立ててやっていただきたい。</p> <p>金子みすゞさん、香月泰男画伯は、全国に発信できる文化的資源であるが、これに頼るだけでなく、新たに、近松門左衛門や幻の楊貴妃伝をつくり上げてはどうか。</p> <p>自然景観では、千畳敷の台地を取り上げることがよいと思う。</p>	<p>「シナリオ化の徹底」や「訴求性の高い情報発信」を戦略として推進することとしており、いただいた御意見については、計画の実施段階において、参考にさせていただきます。</p>
3	<p>明治・大正時代の家や古い様式の建物「古家」が市内にもあるので、「古家を訪ねる」コースを提案する。</p>	<p>長門の魅力を発信する着地型観光商品の一つとして考えられることから、計画の実施段階において、おおいに参考にさせていただきます。</p>
4	<p>長門の名産品として知られるのは、「仙崎かまぼこ」だけ。観光客は、「仙崎の〇〇」、「通の〇〇」、「俵山の〇〇」というイメージで訪れるのではなく、「山口県の長門市」として大雑把に長門市のことを見ている。長門市の内向きブランドではなく、もっと外に発信できる地域ブランド化が必要だと思う。</p>	<p>長門ブランド製品の開発に取り組むこととしており、長門の知名度や認知度を高める上で、地域ブランド化は不可欠であることから、その育成と発信に積極的に取り組むこととしています。</p>
5	<p>行政の予算で造った観光施設等が造って終わりになっているものが見受けられる。建設時の計画に沿い、あるいは、状況変化に応じた活用方法を考えなければ、観光客の目には「廃墟」と映る。</p> <p>「ひなびた」と「活気がない」は異なり、活気のない観光地にきたい人はいない。</p>	<p>既存の観光施設等の有効活用は、基本的な事項であると考えており、施設の目的や、その後の状況変化、費用対効果を踏まえた上で、長門市のイメージを損なうことがないように、適切な管理や修繕等に努めます。</p>

No.	意見の概要	市の考え方
6	<p>観光活性化は、ビジネスチャンスにつながるものであり、民間の役割が大きいと思うが、長門市の観光協会は、他の地域の観光協会と比べると、活動の姿が見えない。基本計画を身のあるものにするためには、観光協会の強化も必要ではないか。</p>	<p>「中核的観光組織の整備」を具体的な取組として掲げており、長門市観光協会が中核的観光振興組織として、民間の事業者や団体をリードし、コーディネート機能を発揮していくこととしています。</p>
7	<p>萩や下関に比べて、長門市の情報発信は弱いように思える。とにかく、情報発信を強化すること。お金もかかるし、効果も見えにくいとは思いますが、思い切つて、継続していくことが必要。</p>	<p>「訴求性の高い情報発信」を戦略として推進することとしており、いただいた御意見については、計画の実施段階において、参考にさせていただきます。</p>
8	<p>組織間の壁の撤廃はもとより、世代間の壁も不要。 民間で言えば、ひとつの長門になった以上たとえ面識のない観光地・事業所であっても、観光客が少しでも長く市内に留まるように誘導しあい、連携する前提で活動（商売）する。 行政では、過去に実施した観光キャンペーンの担当者・責任者が結集すれば、力強い組織になるのではないか。</p>	<p>重点戦略「壁の撤廃」を推進するに当たっては、組織のみならず、地域、業種、世代間の壁を撤廃し、関係者が一枚岩となって観光事業を展開できる「体制づくり」を進めていくこととしており、いただいた御意見については、計画の実施段階において、おおいに参考にさせていただきます。</p>
9	<p>観光が地域の活性化にどうつながるのか、また、私たち市民がどう関わればいいのか、分かりやすい説明が必要。 観光、観光と言われても、今ひとつピンとこない。</p>	<p>観光の意義や効果等の市民への情報発信を積極的に行うこととしており、併せて、観光基本計画の普及啓発に努め、団体や事業者にのならず、市民の皆さんの行動計画に沿った取組や行動を促進していきます。</p>